

独和辞典における時事単語

本 田 義 昭

0. はじめに

インターネットの普及によって、日本でも十数年前から外国の新聞などのサイトにアクセスして最新記事をリアルタイムで読めるようになった。外国のニュースを原文で読むことによって、日本ではまったく、あるいはあまり報道されていないことに関する情報を得ることができる。また、世界中に知られた事件や事柄であっても外国では日本とは異なる受け止め方をしていることに気づくことも少なくない。

このように、外国のニュースを原文で読むことは国際的な視野を養うという点で極めて有用であるが、さまざまな困難も伴う。まず第一にその事件・事柄の背景にある政治・経済・社会などに関する知識や歴史的・文化的な知識が乏しいことである。ある外国語に精通している人でも、その国に生まれ育った人ならだれもが身に着けている常識を知らないことはしばしばある。このギャップを埋めるのは容易なことではないが、その国に居住したり、旅行したり、その国の諸事情に関する本を読んだり、ビデオを見たり、新聞や雑誌を読んだり、その国の人とできるだけ多く接するなどして、その国の人の常識に一步步近づくと努力が必要である。次に、その外国語の文章を読みこなす力、とりわけ構文解析力が必要である。この力はその外国語の文章に接する時間に比例して伸びて行くので、できるだけ多くの文章を読んで経験を積み重ねるしかない。そして3番目に、外国語のニュース記事を読んでいて、意味が分からない単語を手許の辞典（英和辞典、独和辞典など）で調べても、その単語がそもそも載っていないか、載っていても当該の文脈に合う訳語が見当たらないことがある。前者の場合は、探している単語がそもそも出ていないのだから訳語が見つかるはずもなく、その場面ではその辞典は役に立たない¹ので、読者は混乱することがない。他の辞典に当たるか、その箇所を飛ばして先へ読み進むしかない。では、後者の場合はどうであろうか。読者にかなりの実力があれば、辞典に出ている訳語が適切でないことに気づき、

¹ 当該の単語を構成する形態素に分けて、その形態素を辞典で調べることによってその単語の意味を推定できる場合もあるが、そのためにはその外国語に対するある程度の語学力が必要である。

文脈と照らし合わせて自分で訳語を推定できることもあるだろうし、それができなくとも、他の辞典に当たるか、その箇所を飛ばして先へ読み進もうとするだろう。しかし、読者にそれほどの経験がなければ、辞典に出ている訳語を信じてそれを文脈に当てはめようとしてもうまく行かず途方に暮れることになる。目指す訳語が辞典に出ていないことはそれほど頻繁に起きる訳ではないが、外国語の文献を読む際の大きな障壁となっている。

本稿ではドイツのニュースサイトから採取した事例をもとに、目指す訳語が独和辞典に出ていないという現象がなぜ起きるのかという問題を論じることとする。ただし、いわゆる新語はそれが使われ始めてから辞典に掲載されるまで数年の時間差が生じるのはやむを得ないことなので、2002年以降に初出の単語は対象外とする。

1. 調査の方法と対象

英和辞典や仏和辞典などと同様に、独和辞典においてもそれぞれの見出し語に対して適切な訳語が与えられているのが大原則である。本稿ではこれが当てはまらないケースを扱うが、取り上げる個々の事例が決して特殊なものではなく、一定の頻度で用いられていることを示す必要がある。そのために、ドイツの代表的な報道週刊誌《DER SPIEGEL》²のサイト《SPIEGEL-ONLINE-Archiv》³を利用する。このサイトの同誌のアーカイブ⁴で何かあるキーワードを2012年8月31日から遡って検索して、逆時系列順にヒットした記事をサンプル数が20件になるまで20件おきに抽出⁵し、その中に当該の語義で用いられた記事が複数件存在する場合のみを本稿で扱うこととする。

調査の対象とするのは、ドイツ語の新正書法が施行された1998年以降に発行された収録語数6万語以上の独和辞典とした。この条件に該当するのは以下の7点である。⁶

² この表記法はこの雑誌独自のもので、ドイツ語正書法に従えば《Der Spiegel》となる。

³ <http://www.spiegel.de/suche/index.html?suchbegriff=>

⁴ このサイトでは同誌の記事だけでなく、同誌のオンライン版および系列の経済月刊誌《manager magazin》(表記法はこの雑誌による)の記事を無料で検索できる。後二者のアーカイブがそれぞれ1997年ないし1998年以降の記事を収録しているのに対して、同誌のアーカイブでは1947年の創刊号から最新号の2週間までの記事を検索できる。後二者も含めてキーワードを検索すると出現頻度が1997年ないし1998年以降に偏るので、本稿では同誌のアーカイブのみを調査対象とする。

⁵ この抽出方法を以下では「本稿の抽出方法」と言う。ただし、《SPIEGEL-ONLINE-Archiv》では大文字と小文字を区別しないので、名詞と形容詞など複数の品詞にまたがってヒットした場合には、当該の品詞での記事が20件になるまで抽出した。また、《SPIEGEL-ONLINE-Archiv》では検索する単語が他の単語とハイフンで結ばれた複合語もヒットするので、このような複合語はカウントせず、検索対象の単語を含む記事が20件になるまで抽出した。

⁶ この7点の独和辞典の正確な情報は参考文献リストを参照のこと。

『アクセス独和辞典 第3版』(2010年、約7万3500語;以下では『アクセス』と略す)

『クラウン独和辞典 第4版』(2008年、約6万語;以下では『クラウン』と略す)

『新コンサイス独和辞典』⁷(1998年、約9万5000語;以下では『新コンサイス』と略す)

『新マイスター独和辞典』(2006年、約8万語;以下では『新マイスター』と略す)

『デイリーコンサイス独和・和独辞典 第2版』(2009年、約7万8000語;以下では『デイリー』と略す)

『独和大辞典 第2版』(2000年、約16万語;以下では『独和大』と略す)

『フロイデ独和辞典』(2003年、約7万5000語;以下では『フロイデ』と略す)

これらに加えて、問題となる語義が独和辞典でどのように扱われているかを知るため、次の6点も検討することとした。最初の3点はドイツ語を母語とする人のための独和辞典として定評のある Duden の独和辞典⁸で、後ろの3点はドイツ語を母語としない外国人のための代表的な独和辞典である。⁹特に、Duden の独和辞典については第5版(2003年)、第6版(2007年)および最新の第7版(2011年)の三つの版を取り上げてそれらの差異にも注目した。

Duden. Deutsches Universalwörterbuch. 5.Aufl. (2003年、約50万語;以下では Duden 2003と略す)

Duden. Deutsches Universalwörterbuch. 6.Aufl. (2007年、約50万語;以下では Duden 2007と略す)

Duden. Deutsches Universalwörterbuch. 7.Aufl. (2011年、約50万語;以下では Duden 2011と略す)

Langenscheidt Großwörterbuch Deutsch als Fremdsprache. (2010年、約6万6000語;以下では Langenscheidt と略す)

PONS Großwörterbuch Deutsch als Fremdsprache. (2011年、約7万7000語;以下では PONS と略す)

Wahrig Großwörterbuch Deutsch als Fremdsprache. (2008年、約7万語;以下では Wahrig と略す)

⁷ 新正書法が施行された1998年8月1日より前の同年1月1日に発行されているが、新正書法に対応しているので、調査の対象に含めた。

⁸ Heyl, Julian von: Rezension zu: Duden – Deutsches Universalwörterbuch (2011), in: http://www.korrekturen.de/rezensionen/duden_deutsches_universalwoerterbuch.shtml (2012年10月10日閲覧)

⁹ この6点の独和辞典の正確な情報は参考文献リストを参照のこと。

2. 具体例

2.1. 《Ausstoß》

最初に《Ausstoß》を検討しよう。《SPIEGEL-ONLINE-Archiv》において、本稿の抽出方法により以下の用例を得た。

- (1) Von der nationalen Kraftanstrengung, bis 2020 den **Ausstoß**¹⁰ an Treibhausgasen über Hausdämmung, Energieeinsparung und Spritersatz um 40 Prozent gegenüber 1990 zu vermindern, sind die Bauern weitestgehend ausgenommen. (Quelle: DER SPIEGEL, 25. 08. 2008; 本稿の抽出方法による7番目のもの)
- (2) Bis zum Jahr 2020 soll der **Ausstoß** des Klimakillers CO₂ im Vergleich zu 1990 um 40 Prozent reduziert werden. (Quelle: DER SPIEGEL, 25. 06. 2007; 本稿の抽出方法による10番目のもの)

(1) および (2) の《Ausstoß》は「(排ガスなどの) 排出量」という語義で用いられている。《SPIEGEL-ONLINE-Archiv》において本稿の抽出方法で得られた20件の記事のうちで、この語義で用いられた《Ausstoß》を含む記事は11件ある。¹¹ このことから、最近のドイツのマスコミでは《Ausstoß》は「排出量」の語義で用いられることが多い、と言える。

では、《Ausstoß》が独辞典でどのように記述されているか見てみよう。¹²

- (3) (wirtsch.): *Produktionsmenge einer Maschine, eines Industriebetriebes in einer bestimmten Zeiteinheit: [...]*. (Duden 2003, S. 218; Duden 2007, S. 231)
- (4) **1.** *das Ausstoßen* (1): der A. von Kohlendioxid. **2.** (Wirtsch.) *Produktionsmenge einer Maschine, eines Industriebetriebes in einer bestimmten Zeiteinheit: [...]*. (Duden 2011, S. 238)
- (5) **①** WIRTSCH; die gesamte Produktion e-r Fabrik od. e-r Maschine in e-m bestimmten Zeitraum: [...] **②** die Menge Abgase , die ein

¹⁰ 《DER SPIEGEL》からの引用文中の太字は筆者による。以下同様。

¹¹ 他の新聞・雑誌のアーカイブと同様に、《SPIEGEL-ONLINE-Archiv》では一つの記事の中に当該のキーワードが複数回出現するものも1件とカウントされるので、ヒットした記事の件数よりも当該のキーワードの出現回数の方が少し多くなる傾向がある。本稿では厳密な出現頻度を論じている訳ではないので、この問題には立ち入らない。

¹² 語義、語義の補足的説明、語義の分野、語相以外の情報は省略した。用例は問題の語義に関係するものだけを記載した。文字の色は技術的な理由で無視せざるを得なかった。以下同様。

Motor od. e-e Fabrik an die Umwelt abgibt ≈¹³ Emission: *den A. von Schadstoffen verringern* (Langenscheidt, S. 161)

(6) ① WIRTSCHE. *Gesamtheit der hergestellten Waren; Menge der Leistungen in einer Zeit: [...]* ② *abgegebene Menge: den Ausstoß von Kohlendioxid verringern* ◆ [...] (PONS, S. 185)

(7) 1 *gesamte Produktion (eines Industriebetriebes, einer Maschine)*
2 *an die Umwelt abgegebene Abgase (von Autos), Emissionen; [...]*
(Wahrig, S. 141)

Duden 2003および Duden 2007では「生産高」という語義だけしか示されていない。Duden 2011ではこれを第2義として、第1義に「ausstoßen (1) すること」が示されているが、用例があるのである程度想像できるとはいえ、語義そのものは抽象的で分かりづらい。Langenscheidt では (1) および (2) の《Ausstoß》に当てはまる語義が2番目に示されていて、「排出量」という訳語も思い浮かびやすい。

PONS でもこれが二つ目の語義として記されているが、説明が抽象的で分かりづらい。Wahrig では第2義に《Emissionen》と記されているのは評価できるが、その前の説明は「(自動車の)環境へ放出された排気ガス」となっている。《Ausstoß》が「排気ガス」を指すことは少なくとも一般的ではないので、外国人のドイツ語学習者用の独和辞典においてこの説明は不要ではないだろうか。

次に、《Ausstoß》という見出し語に対して独和辞典7点ではどのような訳語が与えられているか見てみよう。¹⁴

(8) ① (一定期間内の) 生産高, 生産能力 ② (排気ガスの) 排出量 (『アクセス』150頁)

(9) ① …… (工場や機械の) 生産能力, ② 『軍』(魚雷の) 発射. (『クラウン』142頁)

(10) 1 『経』生産量 (高), 2 (排気ガスなどの) 排出. (『新コンサイス』127頁)

(11) 1. ……噴出, 突出, 2. ……生産高……, 3. (ビールの) 口あけ. (『新マイスター』123頁)

(12) 生産高 (量); (排ガスなどの) 排出 [量]. (『デイリー』67頁)

(13) 1 ausstoßen すること, 2 『経』生産実績〈能力〉:……, 3 『軍』(魚

¹³ この記号は Langenscheidt では同義語を示す。Langenscheidt, S. 23を参照。

¹⁴ 訳語、訳語の補足的説明、語義の分野、語相以外の情報は省略した。文字の色は技術的な理由で無視せざるを得なかった。以下同様。

雷の) 発射; 魚雷発射管. **4**…… (酒だるなどの) 口開け. **5** [フツツ] 突き. (『独和大』259頁)

- (14) **1** 突いて出すこと, 噴出すること; ビール樽の栓をあけること; (魚雷の) 発射. **2** (一定時間内の) 生産高. (『フロイデ』150頁)

独和辞典7点のうち(1)および(2)の《Ausstoß》に対応する語義を示しているのは訳語を「排出」としている『新コンサイス』を含めて3点のみである。

Dudenはドイツの独和辞典の代表格であり、どの独和辞典の編集作業でもこれを参考にしていていると思われるが、Duden 2007までの版では「排出量」という語義が記されておらず、《Ausstoß》の記述に関しては残念ながら役に立たなかったようである。一方、Langenscheidtは外国人のための独和辞典だけあって《Ausstoß》の実際の使われ方をきちんと反映しており、語義の説明も分かりやすい。独和辞典の編集にあたっては外国人のための独和辞典も参考にすべきというよい例と言えよう。

2. 2. 《Freiwillige》

二つ目の事例として《Freiwillige》を取り上げる。この単語は形容詞が名詞化したものであるが、《SPIEGEL-ONLINE-Archiv》では大文字と小文字を区別しないため、形容詞の用例と名詞の用例の両方がヒットする。このアーカイブにおいて《Freiwillige》というキーワードで2012年8月31日から遡って検索してヒットした記事を更に20件おきにチェックして、その上で名詞の用例だけをピックアップして以下の用例を得た。

- (15) Dank ihres einnehmenden Wesens rekrutierte Johnson am laufenden Band **Freiwillige**, die im Labor ihres Chefs hinter verschlossenen Türen und zum Wohle der Wissenschaft kopulierten. (Quelle: DER SPIEGEL, 13.09.2010; 本稿の抽出方法による2番目のもの)
- (16) In List, wo Prominente wie Fernsehmoderator Günther Jauch und Verlegerwitwe Friede Springer ein Domizil haben, gibt es nicht genug **Freiwillige** für die Feuerwehr. (Quelle: DER SPIEGEL, 26.05.2008; 本稿の抽出方法による5番目のもの)

(15) および(16)の《Freiwillige》は「ボランティア」という語義を持つ。本稿の抽出方法で得られた20件の記事のうち、この語義で用いられた《Freiwillige》を含む記事は6件ある。一方、(17) および(18)の《Freiwillige》は「志願者、

有志」という語義で用いられており、この語義で用いられた《Freiwillige》を含む記事は本稿の抽出方法で得られた20件中4件ある。

- (17) Wenn sich bis zum Stichtag, dem 1. Februar 2005, nicht genügend **Freiwillige** melden, drohen doch noch Kündigungen, oder? (Quelle: DER SPIEGEL, 20.12.2004; 本稿の抽出方法による10番目のもの)
- (18) Ihre HMO¹⁵-Versicherten - allesamt **Freiwillige** - belohnen die Kassen mit Prämienrabatten von bis zu 20 Prozent. (Quelle: DER SPIEGEL, 07.02.2000; 本稿の抽出方法による18番目のもの)

では、独独辞典の記述を見てみよう。

- (19) *jmd., der aufgrund einer freiwilligen [Länger]verpflichtung beim Militär Dienst tut.* (Duden 2003, S. 574)
- (20) *Person, die aufgrund einer freiwilligen [Länger]verpflichtung beim Militär Dienst tut.* (Duden 2007, S. 610)
- (21) **1.** *Person, die freiwillig u. ohne Bezahlung eine bestimmte Aufgabe od. Arbeit übernimmt:* einen Freiwilligen suchen. **2.** *Person, die aufgrund einer freiwilligen [Länger]verpflichtung beim Militär Dienst tut.* (Duden 2011, S.638)¹⁶
- (22) *j-d, der ohne es zu müssen (freiwillig) e-n Dienst, e-e Pflicht übernimmt || [...]* (Langenscheidt, S. 426)
- (23) *Person, die etwas freiwillig tut:* Für diesen Katastropheneinsatz werden noch Freiwillige gesucht; als Freiwilliger an die Front gehen (PONS, S. 531)
- (24) *jmd., der sich aus freiem Willen zu etwas, bes. zur Armee od. zum Kriegsdienst, meldet* (Wahrig, S. 383)

Duden 2003およびDuden 2007では「志願兵、義勇兵」という語義だけが示されているが、これは(15)–(18)の《Freiwillige》には当てはまらない。Duden 2011ではこれを第2義として、第1義に「自由意志および無償で、ある任務ま

¹⁵ 《HMO》は《Health Maintenance Organization》の略である。

¹⁶ 形容詞が名詞化されてそれが人間を指す場合、男性名詞と女性名詞をまとめて一つの見出し語とするのが一般的であるが、Duden 2011ではこの二つをそれぞれ見出し語としている。本稿では男性名詞《Freiwilliger》の記述を引用した。

たは仕事を引き受ける人」が示されている。(15) および (16) の《Freiwillige》はこちらの語義で用いられている。この Duden 2011 の第 1 義を広く解釈すれば(17) および (18) の《Freiwillige》にも何とか当てはまる。Langenscheidt、PONS および Wahrig の語義は Duden 2011 の二つの語義を区別せず一つにまとめたもので、この単語の原義の「自由意志の人」に近いものであるが、ドイツ語を母語としない人にとってはやや漠然としていて具体的な訳語が思い浮かびにくい。

次に、独和辞典 7 点の訳語を見てみよう。

- (25) 志願兵, 義勇兵 (『アクセス』 575頁)
- (26) 志願兵, 義勇兵. (『クラウン』 493頁)
- (27) 志願兵, 義勇兵. (『新コンサイス』 431頁)
- (28) 志願兵, 義勇兵. (『新マイスター』 422頁)
- (29) ボランティア; 志願 (義勇) 兵. (『デイリー』 225頁)
- (30) 『軍』 義勇兵, 志願兵. (『独和大』 821頁)
- (31) 志願兵, 義勇兵; ボランティア. (『フロイデ』 516頁)

この 7 点のうち「ボランティア」という訳語が示されているのは 2 点のみで、「志願者、有志」という訳語は 7 点のどれにも記されていない。本稿の調査では《Freiwillige》の使用例中、3 割が「ボランティア」、2 割が「志願者、有志」という語義で使われているという使用実態が明らかになった。独和辞典の使用者のためにこれらの訳語も加えるべきであろう。

2. 3. 《Mittelstand》

今度は《Mittelstand》を含む記事を見てみよう。

- (32) Seit Monaten schon leidet der **Mittelstand** unter den Folgen der Finanzkrise. Am Anfang begannen die Banken mit Krediten zu knausern, jetzt entziehen die mächtigen Warenkreditversicherer Tausenden Firmen den Schutz - und beschleunigen damit die Talfahrt. (Quelle: DER SPIEGEL, 01. 12. 2008; 本稿の抽出方法による 7 番目のもの)
- (33) Schauen Sie sich doch mal den **Mittelstand** an, was da für tolle Unternehmen existieren: Die Firma Karl Storz in Tuttlingen produziert Endoskopiegeräte und ist Weltmarktführer. (Quelle: DER SPIEGEL, 05. 07. 2004; 本稿の抽出方法による 16 番目のもの)

中小企業研究で知られる《Institut für Mittelstandsforschung Bonn》（ボン中小企業研究所）は1957年に設立されている¹⁷ので、《Mittelstand》という単語は少なくとも1950年代半ばには経済分野では「中小企業」の意味で使われていたはずである。《Mittelstand》の意味に関して、キール大学世界経済研究所の1994年の研究報告書の中でフーゴ・ディッケ氏は、《Mittelstand》はもはや「中産階級」を意味せず、「自営業者ならびに中小企業」の総称になった、と述べている。

- (34) Mittelstand bedeutet heute nicht mehr Zugehörigkeit zu einer bestimmten sozialen Schicht. Mittelstand bzw. mittelständische Wirtschaft ist zum Sammelbegriff für Selbständige sowie für kleine und mittelgroße Unternehmen geworden, die typischerweise von den Eigentümern selbst geleitet werden. (Dicke, Hugo: Wirtschaftliche und politische Standortbedingungen für kleine und mittlere Unternehmen in Deutschland, in: Institut für Weltwirtschaft, Kieler Arbeitspapier Nr. 661, 1994, S.1)

一方、ジャーナリストのフリーデマン・ベデュルフティヒ氏は自著の現代史事典において《Mittelstand》を「中産階級」として説明している。

- (35) Handwerker, Einzelhändler, Angehörige freier Berufe, leitende Angestellte, höhere Beamte, kurz alle Personen mit gutem Einkommen und einigem *Eigentum* werden unter dem Begriff des Mittelstands zusammengefaßt, wobei die Abgrenzung zur Oberschicht ebenso fließend ist wie die zur Arbeiterschaft. (Bedürftig, Friedemann: Taschenlexikon Deutschland nach 1945. München: Piper Verlag, 1998, S. 294)

(34) の文章と (35) の文章とは整合しないように見える。しかし、(34) の文章では経済学の専門家ないし経済学に関心のある人が読者として想定されているのに対して、(35) の文章はドイツ現代史の事典の中の説明であり、想定される読者は経済学に詳しい人とは限らないことを考慮する必要がある。1990年代において《Mittelstand》という単語は経済学分野ではもはや「中産階級」ではなく「中小企業」を意味するようになっていたが、一般の人にとっては今なお「中産階級」

¹⁷ Institut für Mittelstandsforschung: Ziele und Aufgaben des IfM Bonn, in: <http://www.ifm-bonn.org/index.php?id=60> (2012年10月10日閲覧)

を意味していた、と解釈すれば説明がつく。本稿の抽出方法で得られた20件の記事のうち13件では《Mittelstand》は「中小企業」を指しているが、残りの7件では《Mittelstand》は(36)や(37)のように「中産階級」という語義で用いられており、この語義での使用頻度が落ち込んでいる訳ではない。

- (36) Und Cope - eine ANC-Abspaltung - jagt der Regierungspartei im schwarzen **Mittelstand** Stimmen ab. (Quelle: DER SPIEGEL, 27.08.2012; 本稿の抽出方法による1番目のもの)
- (37) "Vom Multimilliardär bis zum Maurermeister", so charakterisiert er seine Klientel. Viel **Mittelstand**, viele Selbständige, wenig Ostdeutsche, keine Migranten. (Quelle: DER SPIEGEL, 02.05.2011; 本稿の抽出方法による3番目のもの)

《Süddeutsche Zeitung》に連載の同名の時事用語コラムをまとめて毎年1冊発行される《Aktuelles Lexikon》の30号には《Mittelstand》という単語の使用実態についてうまく解説した記事がある。

- (38) Im allgemeinen Sprachgebrauch ist „Mittelstand“ ein verschwommener Begriff: Die meisten Bundesbürger fühlen sich als Angehörige der Mittelklasse und nennen diese „Mittelstand“. [...] In der Wirtschaftspolitik bedeutet Mittelstand ganz einfach: kleine und mittlere Unternehmen. (Sowein, Gerd: Aktuelles Lexikon XXX, S. 180)

《Süddeutsche Zeitung》は政治、経済、スポーツなどの特定の分野の専門紙ではなく、幅広い読者層を対象とする一般紙である。この記事が2003年1月14日の同紙に掲載されている¹⁸ことから、《Mittelstand》という単語は従来「中産階級」という語義を有していたが、経済政策分野において「中小企業」という語義で用いられるということが1990年代後半から2000年代前半にかけて一般の人たちにも知られるようになったことが窺える。

独辞典で《Mittelstand》の語義がどのように記述されているか見てみよう。

- (39) *Gesamtheit der zur Mittelschicht Gehörenden.* (Duden 2003, S. 1089; Duden 2007, S. 1155)

¹⁸ Sowein, Gerd: Aktuelles Lexikon XXX, S. 180

- (40) 1. (Wirtsch.) *Gesamtheit der kleinen und mittleren Unternehmen sowie der Selbständigen.* 2. *Mittelschicht.* (Duden 2011, S. 1201)
- (41) ≈ Mittelschicht (Langenscheidt, S. 760)
- (42) ① *die Mittelschicht* ② WIRTSCH. *die kleinen und mittleren Unternehmen* (PONS, S. 965)
- (43) =*Mittelschicht* (Wahrig, S. 706)

Duden 2003およびDuden 2007では「中産階級」という語義だけが示されているが、Duden 2011ではこれを第2義として「中小企業」を第1義に挙げている。外国人のための独独辞典ではPONSだけがこの語義を記している。《Mittelstand》の記述に関してのDuden 2007からDuden 2011への変化はこの単語の使用実態が変化したことに対応した結果と言えよう。

では、独和辞典7点における《Mittelstand》の訳語を見てみよう。

- (44) 中産〈中流〉階級 (『アクセス』1051頁)
- (45) 中産階級. (『クラウン』924頁)
- (46) 中産 (中流) 階級, 中間層; 中小企業. (『新コンサイス』794頁)
- (47) 《総称》中産〔中流〕階級, 中間層. (『新マイスター』813頁)
- (48) 中産 (流) 階級. (『デイリー』443頁)
- (49) 中産階級; 中間階級; 中間層. (『独和大』1549頁)
- (50) 中産 (中流) 階級. (『フロイデ』967頁)

7点の中で発行年が最も早い『新コンサイス』だけが「中小企業」という訳語を挙げている。他の6点は《Mittelstand》の記述にあたり、この単語の使用実態の変化に気づかなかつたと思われる。しかし、本稿の調査が示すように、《Mittelstand》の使用例の6割は「中小企業」という語義で用いられるので、この訳語も加えるべきであろう。

2. 4. 《Netz》

今度は《Netz》について検討しよう。

- (51) Mehr als jeder dritte Bundestagsabgeordnete befüllt mittlerweile seinen eigenen Twitter-Kanal, dem Mitteilungsdrang sind dabei keine Grenzen gesetzt. Während ihrer Tour im Wahlkreis menschen sich die Parlamentarier munter durchs **Netz**.
(Quelle: DER SPIEGEL, 27. 08. 2012; 本稿の抽出方法による1番目の

もの)。

- (52) Neben einem Foto, das einen Polizisten zeigt, der eine 18-jährige Demonstrantin im Würgegriff von der Straße schleppt, stellte sie ein Bild von Nazi-Offizieren ins **Netz**, die im Zweiten Weltkrieg in der Sowjetunion eine Frau aufhängen. (Quelle: DER SPIEGEL, 11.06.2012; 本稿の抽出方法による5番目のもの)

(51) および (52) における《Netz》は日本語の「ネット」と同様に「インターネット」という語義で使われている。本稿の抽出方法で得られた20件の記事のうち、この語義で用いられた《Netz》を含む記事は10件ある。
独辞典における《Netz》の記述を見てみよう。

- (53) **1. a)** *Gebilde aus geknüpften Fäden, Schnüren o.Ä., deren Verknüpfungen meist rautenförmige Maschen bilden: [...];* **b)** *Gerät zum Fangen von Tieren, besonders zum Fischfang; Fischernetz: [...];* **c)** *geknüpfter Beutel besonders zum Einkaufen; Einkaufsnetz; d)* *Haarnetz: [...];* **e)** *Gepäcknetz; f)* *([Tisch]tennis, Volleyball, Badminton) zwischen den beiden Spielfeldhälften gespanntes netzartiges Band: [...];* **g)** *(aus einem gespannten Netz 1 a bestehende) Schutzvorrichtung der Artisten: [...];* **h)** *von der Spinne gesponnenes netzartiges Gebilde, in dem sie ihre Beute fängt; Spinnennetz: [...].* **2. a)** *System von netzartig verzweigten Verteilungsleitungen mit den dazugehörigen Einrichtungen für die Versorgung mit Strom, Wasser, Gas, Öl, für die Kanalisation, für die Nachrichtenübermittlung: [...];* **b)** *System von netzartig verzweigten, dem Verkehr dienenden Linien od. Anlagen: [...];* **c)** *(bes. Geogr.) System sich schneidender Linien auf einer [Land]karte; d)* *[systematisch über einen bestimmten Raum, Bereich verteilte] Personen, Einrichtungen, Dinge gleicher Funktion; vielfältig verflochtenes System: [...].* **3. a)** *(Geom.) in eine Ebene geklappte Begrenzungsflächen eines (an den Kanten aufgeschnittenen) geometrischen Körpers: [...];* **b)** *(Math.) System von zwei od. mehreren sich schneidenden Kurvenscharen auf einer Fläche [...].* (Duden 2003, S. 1135)
- (54) **1. a)** *Gebilde aus geknüpften Fäden, Schnüren o.Ä., deren Verknüpfungen meist rautenförmige Maschen bilden: [...];*

b) *Gerät zum Fangen von Tieren, besonders zum Fischfang; Fischernetz: [...]; c) geknüpfter Beutel besonders zum Einkaufen; Einkaufsnetz; d) Haarnetz: [...]; e) Gepäcknetz; f)* ([Tisch]tennis, Volleyball, Badminton) *zwischen den beiden Spielfeldhälften gespanntes netzartiges Band: [...]; g) (aus einem gespannten Netz 1 a bestehende) Schutzvorrichtung der Artisten: [...]; h) von der Spinne gesponnenes netzartiges Gebilde, in dem sie ihre Beute fängt; Spinnennetz: [...].* **2. a)** *System von netzartig verzweigten Verteilungsleitungen mit den dazugehörigen Einrichtungen für die Versorgung mit Strom, Wasser, Gas, Öl, für die Kanalisation, für die Nachrichtenübermittlung: [...]; b) System von netzartig verzweigten, dem Verkehr dienenden Linien od. Anlagen: [...]; c) (bes. Geogr.) System sich schneidender Linien auf einer [Land]karte; d) [systematisch über einen bestimmten Raum, Bereich verteilte] Personen, Einrichtungen, Dinge gleicher Funktion; vielfältig verflochtenes System: [...]; e) (EDV) kurz für ↑ Netzwerk (5) ; f) (ugs.) Internet.* **3. a)** (Geom.) *in eine Ebene geklappte Begrenzungsflächen eines (an den Kanten aufgeschnittenen) geometrischen Körpers: [...]; b) (Math.) System von zwei od. mehreren sich schneidenden Kurvenscharen auf einer Fläche [...].* (Duden 2007, S. 1204)

- (55) **1. a)** *Gebilde aus geknüpften Fäden, Schnüren o.Ä., deren Verknüpfungen meist rautenförmige Maschen bilden: [...]; b) Gerät zum Fangen von Tieren, besonders zum Fischfang; Fischernetz: [...]; c) geknüpfter Beutel besonders zum Einkaufen; Einkaufsnetz; d) Haarnetz: [...]; e) Gepäcknetz; f) (Badminton, Tennis, Tischtennis, Volleyball) zwischen den beiden Spielfeldhälften gespanntes netzartiges Band: [...]; g) aus einem gespannten Netz (1 a) bestehende Schutzvorrichtung der Artisten: [...]; h) von der Spinne gesponnenes netzartiges Gebilde, in dem sie ihre Beute fängt; Spinnennetz: [...].* **2. a)** *System von netzartig verzweigten Verteilungsleitungen mit den dazugehörigen Einrichtungen für die Versorgung mit Strom, Wasser, Gas, Öl, für die Kanalisation, für die Nachrichtenübermittlung: [...]; b) System von netzartig verzweigten, dem Verkehr dienenden Linien od. Anlagen: [...]; c) (bes. Geogr.) System sich schneidender Linien*

auf einer [Land]karte; **d)** [systematisch über einen bestimmten Raum, Bereich verteilte] Personen, Einrichtungen, Dinge gleicher Funktion; vielfältig verflochtenes System: [...]; **e)** (EDV) Kurzform von Netzwerk (5) ; **f)** (ugs.) Internet. **3. a)** (Geom.) in eine Ebene geklappte Begrenzungsflächen eines (an den Kanten aufgeschnittenen) geometrischen Körpers: [...]; **b)** (Math.) System von zwei od. mehreren sich schneidenden Kurvenscharen auf einer Fläche [...]. (Duden 2011, S. 1252)

- (56) **①** ein System (bes von Straßen, Schienen, Kanälen o.Ä.), durch das Menschen u. Waren (einfach u. schnell) in viele Richtungen u. an viele Orte kommen können: [...] **②** ein System (von Apparaten u. Leitungen), mit dem man Gas, elektrischen Strom, Nachrichten o.Ä. verteilt u. transportiert [...] **③** e-e Gruppe von Personen od. Institutionen, die an verschiedenen Orten arbeiten, aber miteinander durch die Organisation verbunden sind || [...] **④ das soziale N.** ein System von sozialen Hilfen, das der Bevölkerung e-n bestimmten Lebensstandard garantieren soll **⑤ ein N. von** <Lügen, Intrigen o.Ä.> viele Lügen, Intrigen o.Ä., die miteinander verbunden sind: [...] ¹⁹ (Langenscheidt, S. 796)
- (57) **①** ein System von Verkehrswegen, die miteinander verbunden sind und über das Menschen oder Waren in verschiedene Richtungen und an verschiedene Orte gelangen können: [...] **②** ein System von Leitungen und Vorrichtungen, über das Strom, Gas, Wasser, Nachrichten o.Ä. verteilt und transportiert werden kann ◆ [...] **③** EDV das Internet: etwas im Netz suchen **④** EDV Netzwerk **⑤** Personen oder Institutionen, die in einer Organisation verbunden sind, aber an verschiedenen Orten arbeiten; [...] ²⁰ (PONS, S. 1013)
- (58) **1** aus Fäden, Haar, Draht o.Ä. geknüpftes Maschenwerk als Fanggerät, zum Schutz, zum Befestigen, als Hindernis od. als Stütze; [...] **2** haarfeines, lockeres Gespinnst der Spinne; [...] **3** Gesamtheit vieler sich kreuzender u. voneinander abzweigender

¹⁹ Langenscheidt は《Netz》を語義によって二つの見出し語に分けている。本稿では「ネットワーク」などの比喩的な語義を扱う《Netz²》の記述を引用した。

²⁰ PONS も《Netz》を語義によって二つの見出し語に分けている。本稿では「ネットワーク」などの比喩的な語義を扱う《Netz²》の記述を引用した。

Bahnlinien, Straßen usw.; [...] 4 <El.> System elektischer Leitungen mit vielen Schaltelementen; [...] 5 <EDV; kurz für> Netzwerk (3), bes. das Internet; [...] ▶ sich Musik aus dem ~ herunterladen <umg.> [...] (Wahrig, S. 737)

Langenscheidt 以外の独辞典は「インターネット」という語義を示している。《Internet》は1990年代初頭以降に急速に普及した。²¹ 1994年11月21日発行の《DER SPIEGEL》に《Internet》を含む次の記事がある。

- (59) Zudem hat das neue Network für Millionen Datenreisende ein Sonderangebot parat: Sie sollen, durch das neue Windows, Zugang zum weltgrößten Datennetz Internet erhalten, das nicht kommerziell betrieben wird und aus immer neuen Verbindungen zwischen Universitäts-, Behörden- und Forschungsrechnern zusammenwuchert. (DER SPIEGEL, 21. 11. 1994)

(59) では「インターネット」の前にこれと同格の「世界最大のデータネット」という名詞句があるが、1994年の時点ではこのような説明がなければ「インターネット」だけでは読者には理解されにくかったことが窺える。では、「インターネット」という語義での《Netz》はいつ頃から普及したのだろうか。《SPIEGEL-ONLINE-Archiv》の《DER SPIEGEL》のアーカイヴで1994年から2000年まで各年の12月31日から遡って《Netz》を検索し、逆時系列順にヒットした記事をサンプル数が20件になるまで20件おきに抽出したもののうちで「インターネット」という語義で用いられた《Netz》を含む記事の件数を調べたところ、次の結果を得た。

(60)

	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年
20件中の件数	0	1	2	4	7	8	8

この結果から、《DER SPIEGEL》において《Netz》の「インターネット」という語義での使われ方は1998年頃から普及したことが分かる。しかし《Netz》のこの語義はDuden 2003までは採用されず、もうしばらく様子を見てDuden

²¹ Quasthoff, Uwe: Deutsches Neologismenwörterbuch. Neue Wörter und Wortbedeutungen in der Gegenwartssprache. Berlin: Walter de Gruyter, 2007, S. 327.

2007から採用されている。

では次に、《Netz》が7点の独和辞典でどのように記述されているか見てみよう。

- (61) ①網；網袋，網棚…… ②（球技などの）ネット；ヘアネット……
③クモの巣 ④網状のもの；放送〈通信〉網，道路〈水路〉網，回路網，
配管網，《医学》網状血管〈神経〉，経緯線……（『アクセス』1100頁）
- (62) ① (a)（漁業・狩猟用の）網，ネット，漁網，捕虫（捕鳥）網；罨
（む），策略，…… (b)……網目の買い物用バッグ（袋）。(c)……網
棚，…… (d)……ヘアネット。(e)（曲芸師などの危険防止用）安全網，
…… (f)【スポーツ】（テニスなどの）ネット；（サッカーなどの）ゴール
ネット；（バスケットボールの）バスケット，…… (g)……クモの
巣。②（網の目状に構成された各種の）ネットワーク（施設・組織・
制度），…… ③【地理】経緯度線；（地図上に引かれた）碁盤目。④
【数】（多面体の）展開図。⑤【医】大網，腸間膜；（神経の）叢
（き）；（細胞の）網状質。⑥【工】（接眼レンズ焦点面の）十字線。⑦
das～【天】レチクル座。（『クラウン』972頁）
- (63) 1網，漁網，採集網，昆虫網；保護（防護）網。2ヘアネット；（買
い物用）網袋；【スゴ】（バレーなどの）ネット；ゴールネット。3網状
の組織，…網；供給網，連絡網。4クモの巣。5網状のもの：【地】
経緯線，【測量】三角点網，【医】網状組織，腸間膜，【数】（立体の）
展開図。6 das～【天】レチクル座，……（『新コンサイス』833頁）
- (64) 1. 網，ネット；（捕獲用の）網；（ヘア）ネット……；（買い物用）
網袋……；網棚……；クモの巣…… 2. 網状のもの；ネットワーク，
回路網，配管網，…… 3. 【地】経緯線。4. 【幾何】展開図；【解
】網状組織，……（『新マイスター』853頁）
- (65) 網；ネット；漁網；昆虫網；落下防止ネット；クモの巣；ヘアネット，
網袋；網棚；ネットワーク；回路；網状の物（鉄道網・道路網・放送
網・電話網・水路網など）；方眼【紙】；【スポーツ】【ゴール】ネット；
【地】経緯線；【医】大網【膜】。（『デイリー』464頁）
- (66) 1……網，ネット；…… 2……クモの巣；…… 3（網状の組織，
例えば：）連絡網，供給網，情報網，放送網，ネットワーク；【電】
回路〈配電〉網；…… 4（網状のもの，例えば：）a) 網目の線，
方眼【図】，碁盤目；（地図の）経緯線；【測量】三角点網；【工】十字線，
b) 【解】（血管・神経などの）網状組織；腹網膜，腸間膜。c) 【数】（立
体の）展開図。d) das～【天】レチクル座。（『独和大』1624頁）
- (67) 1 (a)（一般に）網，ネット，…… (b)（獲物を捕える）網；魚網，

鳥網, 捕虫網; (比喩) 策略, わな. …… (c) …… (買い物用の) 網袋.
 (d) ……ヘアネット. (e) (電車の) 網柵. …… (f) (落下防止用の)
 安全ネット. (g) 『テニス』 (テニス・卓球などの) ネット; (サッカー・
 ハンドボールなどの) ゴールネット; (バスケットボールの) バスケット
 (ゴール). (h) ……くもの巣. **2** (網状の組織を指して) ネットワー
 ク; 道路網, 鉄道網; 電力網, 電話網, 導管網; 回路網, 配電網; 放
 送網, 情報網. …… **3** (網状のものを指して) (a) 網目の線, 方眼,
 基盤目. (b) 『地図』 経緯線; 『測量』 三角点網. (c) 『数学』 (立体の)
 展開図. (d) 『解剖』 (血管・神経などの) 網状組織. (e) das ~ 『天
 文』 ……小網座, レチクル座. (『フロイデ』 1018頁)

7点のどれにも「インターネット」という語義は示されていない。本稿の調査でも《Netz》の使用例の5割はこの語義によるものなので、ぜひ追加すべきであろう。

2. 5. 《Stadtstaat》

今回は《Stadtstaat》について検討しよう。

- (68) Staatliche Deputation, so heißen im **Stadtstaat** Bremen Ausschüsse, in denen ein gutes Dutzend Politiker aller Couleur darüber beraten, was sie für ihre Bürger Gutes tun sollten. (Quelle: DER SPIEGEL, 15. 03. 2010; 本稿の抽出方法による2番目のもの)
- (69) Noch einmal eine Hauptverhandlung gegen Isolde Oechsle-Misfeld, wahrscheinlich vom Herbst 1990 an, in Hamburg, denn der **Stadtstaat** Hamburg hat nur ein Landgericht. (Quelle: DER SPIEGEL, 04. 12. 1989; 本稿の抽出方法による11番目のもの)

(68) および (69) の《Stadtstaat》は《Stadt》と《Staat》の複合語である。《Stadt》は「都市」であるが、《Staat》は何を意味するのだろうか。dtvの政治用語事典は《Staat》をいわゆる三要素説に基づいて次のように説明している。

- (70) (lat. *status*: Zustand) Die politische Einheit einer Gemeinschaft von Menschen (das Staatsvolk), die innerhalb eines räumlich abgegrenzten Gebiets (dem Staatsgebiet) unter einer obersten Gewalt (der Staatsgewalt) organisiert sind (Drei-Elemente-Lehre). (Rittershofer, Christian: Lexikon Politik, Staat, Gesellschaft. München: Deutscher Taschenbuch Verlag, 2007, S. 626)

これによれば、《Staat》とは人民、領域および主権から成り立っている政治的単位であるということだが、《Staat》を「国家」と考えてよいのだろうか。Duden 2003および Duden 2011は《Staat》を次のように説明している。

- (71) 1. a) *Gesamtheit der Institutionen, deren Zusammenwirken das dauerhafte u. geordnete Zusammenleben der in einem bestimmten abgegrenzten Territorium lebenden Menschen gewährleisten soll: ein souveräner, demokratischer S.; der französische S.; der S. Israel; der S. (Bundesstaat) Washington; [...].*²² (Duden 2003, S. 1498f.; Duden 2011, S. 1657)

(71) での語義の説明は (70) に沿ったものであるが、回りくどく分かりにくい文章である。しかし、フランスおよびイスラエルの二つの国に加えてアメリカのワシントン州が用例にあることから、《Staat》は「国家」だけでなく「(連邦国家の) 州」も意味することが分かる。つまり、Duden 2003、Duden 2007および Duden 2011では《Staat》は「国家」と「(連邦国家の) 州」を区別しない一つの概念として捉えられている。これに対して Langenscheidt はドイツ語を母語としない人もきちんと理解できるよう、《Staat》を極めて明確に説明している。

- (72) ① ein Land als politisches System (mit seinen Institutionen, Bürgern etc) [...] ② die Regierung u. Verwaltung e-s Landes [...] ③ eines der Länder² (2) e-s Bundesstaats ↔ Bund || [...] ④ die Vereinigten Staaten ≈ Amerika (= die USA) [...] (Langenscheidt, S. 1034)

(72) の①は「国家」という語義を、③は「(連邦国家の) 州」という語義を示している。一つの連邦国家を構成するそれぞれの州は、ふつうの国と同様に、独自の政府と憲法を持っているので、どちらも《Staat》と呼ばれて当然ということになる。連邦国家の仕組みになじみのない外国人にとっては、《Staat》の説明に関して Langenscheidt の方が Duden 2003、Duden 2007および Duden 2011よりも圧倒的に優れている。

ここで《Stadtstaat》に戻ろう。(68) および (69) において《Stadtstaat》はそれぞれ直後の《Bremen》ないし《Hamburg》と同格である。つまり、この場合

²² Duden 2007 (S. 1592) では3番目と4番目の用例の順序が逆になっているが、それ以外の記述は Duden 2003および Duden 2011と同じである。

の《Stadtstaat》は都市国家ではなく、都市でありながらバイエルン州やヘッセン州などの一般の州と同等の権限を持つ都市州²³のことである。本稿の抽出方法で得られた20件の記事のうち、この語義で用いられた《Stadtstaat》を含む記事は14件ある。

では、独独辞典において《Stadtstaat》がどのように記述されているか見てみよう。

- (73) *Stadt, die ein eigenes Staatswesen mit selbstständiger Verfassung darstellt:* [...] ; zur Bundesrepublik gehören jetzt 13 Flächenstaaten und 3 -en. (Duden 2003, S. 1502; Duden 2007, S. 1596)
- (74) *Stadt, die ein eigenes Staatswesen mit selbstständiger Verfassung darstellt.* (Duden 2011, S. 1661)
- (75) e-e Stadt mit den gleichen Rechten u. Pflichten wie ein Bundesland od. ein Staat: *Die Stadtstaaten Bremen u. Hamburg; Florenz u. Venedig waren früher Stadtstaaten* (Langenscheidt, S. 1036)
- (76) ❶ *eine Stadt, die ein selbstständiger Staat ist:* Athen war ein Stadtstaat. ❷ *eine Stadt, die ein selbstständiges deutsches Bundesland ist:* Hamburg und Bremen sind Stadtstaaten. (PONS, S. 1300)
- (77) *eine Stadt als selbstständiges Staatswesen (in Dtschld. heute noch Berlin, Bremen u. Hamburg)* (Wahrig, S. 952)

(71) で見たように、Duden 2003、Duden 2007およびDuden 2011では、《Staat》は「国家」と「(連邦国家の) 州」を区別しない一つ概念として捉えられているが、その捉え方は《Stadtstaat》でも同様である。Duden 2003およびDuden 2007には用例があるので《Stadtstaat》が「都市州」も指すことが想像できるが、語義説明の《Staatswesen》は「国家」と「(連邦国家の) 州」を区別しておらず、外国人には分かりづらい。Duden 2011の語義説明はDuden 2003およびDuden 2007とまったく同じであるが、こちらは用例が省かれている。この語義説明だけでは「都市州」も指しうることは気付きにくく、分かりやすさの点で明らかに後退している。ドイツ語を母語としない人向けの独独辞典の中ではPONSが「都

²³ ドイツにはハンブルク、ブレーメンおよびベルリンの3つの都市州がある。ただし、ブレーメン都市州はブレーメン市単独ではなく、同市とブレーマーハーフェン市とで構成される。Bundesland Bremen: das Bundesland Bremen auf einen Blick, in: <http://bremen.de/zahlen-fakten-13154375> (2012年10月10日閲覧)

市国家」と「都市州」に項目を分けて語義を説明しており、それぞれの適切な用例と相まって非常に分かりやすい。Langenscheidt も《Bundesland》と《Staat》を対比して語義を説明しているが、両者が一つにまとめられていてやや分かりづらい。Wahrig は Duden 2003、Duden 2007 および Duden 2011 と似た記述で、分かりづらい。

次に、独和辞典 7 点の記述を見てみよう。

- (78) 都市国家；(ドイツの) 州の権利を持つ都市 (ベルリン, ハンブルク, ブレーメン) (『アクセス』1441頁)
- (79) 都市国家. (『クラウン』1307頁)
- (80) 『政』都市州 (Hamburg など州と同じ法的地位をもつ都市). (『新コンサイス』1118頁)
- (81) 都市国家. (『新マイスター』1154頁)
- (82) 都市国家；(ドイツ連邦共和国の) 都市州. (『デイリー』621頁)
- (83) 都市国家(古代ギリシアのポリス, 今日の Hamburg 州など). (『独和大』2195頁)
- (84) 都市国家 (かつてのヴェネツィア・フィレンツェなど). (『フロイデ』1363頁)

7 点中 4 点は訳語として「都市国家」だけを記している。この中で『独和大』は具体例を挙げてはいるが、今日のドイツには都市国家はないので、この記述を見た利用者が混乱しそうである。本稿の調査が示すように、《Stadtstaat》の使用例の 7 割は「都市州」という語義で用いられるので、この訳語も加えるべきであろう。

2. 6. 《Übernahme》

次は《Übernahme》について検討しよう。

- (85) Nach der **Übernahme** durch die Deutsche Bank sei man auch nicht mehr an der Oppenheim-Esch-Holding beteiligt. (Quelle: DER SPIEGEL, 10. 12. 2010; 本稿の抽出方法による 6 番目のもの)
- (86) Durch die versuchte **Übernahme** von VW durch Porsche spielten die Kurse der VW-Aktien plötzlich verrückt. (Quelle: DER SPIEGEL, 11. 10. 2010; 本稿の抽出方法による 7 番目のもの)

(85) および (86) の《Übernahme》は「企業買収」という語義で用いられている。

本稿の抽出方法で得られた20件の記事のうち、この語義で用いられた《Übernahme》を含む記事は14件ある。

独和辞典における《Übernahme》の記述を見てみよう。

- (87) **1.** [...] *das Übernehmen* (1-3) *von etw., jmdm.* **2.** *etw., was übernommen* (3) *worden ist: [...].* (Duden 2003, S. 1627)
- (88) **1.** [...] *das* ²*Übernehmen* (1 a) *von etw., jmdm.* **2.** *etw., was* ²*übernommen* (3) *worden ist: [...].* (Duden 2007, S. 1731; Duden 2011, S. 1802)
- (89) *das Übernehmen* (1-6): *die Ü. des Betriebs durch e-n Konzern; [...]* (Langenscheidt, S. 1121)
- (90) **①** *das Übernehmen von etwas:* *die Übernahme des Konkurrenzunternehmens; [...]* **②** *etwas, das übernommen wurde: [...]* (PONS, S. 1396)
- (91) *das Übernehmen; [...]* (Wahrig, S. 1029)

6点のすべてにおいて「übernehmen すること」という記述がなされている。《übernehmen》という動詞に対応する名詞が《Übernahme》であるから当然ではあるが、このような説明はドイツ語を母語としない人にはあまり役に立たない。そのような人は検索中の《Übernahme》に当てはまる訳語が思い浮かばないので《übernehmen》の項目を調べることになるが、いくつもある語義の中から該当するものを選択し、その語義から問題の《Übernahme》に対応する名詞の形の訳語を推定するのは容易ではない。外国人のドイツ語学習者が理解しやすいよう、《Empfang》など他の単語も加えて説明すべきであろう。

では次に、独和辞典7点の記述を見てみよう。

- (92) 引き継ぎ; 引き受け; 受け取り; 継承; 譲り受け; (思想・テーマなどの) 借用 (『アクセス』1580頁)
- (93) **①** …… (業務・官職などの) 引き継ぎ; (有価証券などの) 引き受け; (企業などの) 併合, 乗っ取り; (権力などの) 奪取; (遺産の) 相続。 — *feindliche* ~ 敵対的買収。 **②** (思想・外来語などの) 借用。 (『クラウン』1427頁)
- (94) 引き継ぎ, 請け負い; 引き受け; 買収, 乗っ取り。 (『新コンサイス』1221頁)
- (95) **1.** ……受取ること; 引受ける [引継ぐ] こと; (テキストなどの) 借用。
2. 借用したもの。 (『新マイスター』1264頁)

- (96) 引受け；引取り，受継ぎ；担当，受任，請負。（『デイリー』679頁）
- (97) (übernehmen²すること，例えば:) 引き受け，担当；受け継ぎ；(思想・テーマなどの) 借用；(商品の) 引き取り：……（『独和大』2395頁）
- (98) 1…… (商品の) 受領，(事務の) 引継ぎ，(仕事の) 請負い，(債務の) 引受け，(営業権の) 譲り受け。 2 (他人の文章の) 借用，転用，引用。（『フロイデ』1494頁）

7点の独和辞典のいずれも独独辞典のように「…すること」という訳語だけで済ませていていないことは当然とはいえ評価すべきであろう。しかし、「企業買収」という語義を示しているのは7点中2点のみである。本稿の調査では《Übernahme》の使用例の7割はこの語義で用いられているので、加える必要がある。

2.7. 《Union》

最後に《Union》について検討しよう。

- (99) Mal wieder, so scheint es, legen **Union** und FDP gegenüber Reichen und Bankiers ein erstaunliches Maß an Großzügigkeit an den Tag. (Quelle: DER SPIEGEL, 20.08.2012; 本稿の抽出方法による5番目のもの)
- (100) Es wäre ein erster Coup für den neuen Umweltminister und ein weiteres Beispiel, dass wichtige politische Entscheidungen derzeit vorrangig im Konsens zwischen **Union** und den Oppositionsparteien SPD und Grüne getroffen werden. (Quelle: DER SPIEGEL, 23.07.2012; 本稿の抽出方法による16番目のもの)

(99) および (100) において《Union》という単語は《FDP》や《SPD》などの政党名と《und》で結ばれているので、政党に関係する名詞であることは容易に想像がつかうが、ドイツには《Union》という政党はない。

それでは、《Union》は独独辞典においてどのように記述されているか見てみよう。

- (101) *Bund, Vereinigung, Zusammenschluss (bes. von Staaten u. von Kirchen mit verwandten Bekenntnissen):* [...] die Junge U. (*gemeinsame Jugendorganisation der CDU u. der CSU*). (Duden 2003, S. 1660; Duden 2007, S. 1766; Duden2011, S. 1837)
- (102) ① ein Zusammenschluss von mehreren Institutionen od. Staaten zu e-r Organisation, die ihre gemeinsamen Interessen

verfolgt ≈ Vereinigung [...] ② **die U.** [...] die beiden Parteien CDU und CSU || [...] **Unionsparteien** ③ **die junge U.** [...] die Nachwuchsorganisation der beiden Parteien CDU und CSU (Langenscheidt, S. 1146)

- (103) POL. ① (≈²⁴ Vereinigung) *Zusammenschluss von Staaten oder Institutionen mit dem Ziel, die Interessen gemeinsam besser und effektiver zu vertreten:* [...] ② [...] POL. *Bezeichnung für die Parteien CDU/CSU in Deutschland;* ■ **die junge Union** *die Nachwuchsorganisation der CDU/CSU* (PONS, S. 1434f.)
- (104) ① *Vereinigung, Verbindung, Zusammenschluss* ② <Pol> *eine der beiden konservativen Parteien CDU od. CSU;* Abl *Unionspartei(en)* ▶ [...] (Wahrig, S. 1049)

Duden 2003、Duden 2007およびDuden 2011は全く同じ記述であるが、語義の説明だけでは(99)および(100)の《Union》が何を意味するのか分からない。ドイツの政治について予備知識があれば《die Junge U.》という用例がヒントになるが、予備知識がなければここで問題となっている《Union》の語義についてDuden 2003、Duden 2007およびDuden 2011は残念ながら役に立たない。これに対してLangenscheidtとPONSでは「CDUとCSUの両党」を指すことが示されている。Wahrigでは「二つの保守政党のCDUまたはCSUの一つ」と書かれているが、LangenscheidtやPONSと同様に「CDUとCSUの両党」と記す方が適切であろう。

ドイツの全16州中バイエルン州以外の15州で活動するCDU(キリスト教民主同盟)と、その姉妹政党でバイエルン州だけで活動するCSU(キリスト教社会同盟)はドイツ連邦共和国が成立した1949年以来国会レベルでは《CDU/CSU-Bundestagsfraktion》(CDU/CSU連邦議会会派)を形成してきた。²⁵ マスコミでは《CDU/CSU》の他に《Union》と呼ばれることも多く、しばしば一つの政党のように扱われる。本稿の抽出方法で得られた20件中6件の記事では《Union》はこの語義で用いられている。20件中6件はそれほど高い割合ではないが、そのうちの10件は《Europäische Union》(欧州連合)として用いられているので、これを除いて考えれば《Union》の使用例の6割は「同盟両党」の語義で使われていることになる。Duden 2003、Duden 2007およびDuden 2011では、《Union》の語義を記述するにあたり、余りにも当たり前過ぎて、「同盟両党」のことを失

²⁴ この記号はPONSでも同義語を示す。PONS, S. 13を参照。

²⁵ CDU/CSU: Geschichte der Fraktion, in: http://www.cdusu.de/Titel_geschichte_der_fraktion/TabID_19/SubTabID_21/InhaltTypID_27/Texte.aspx (2012年10月10日閲覧)

念したのであろう。

では次に、独和辞典における《Union》の記述を見てみよう。

- (105) **連合**, 連盟, 同盟 ▷ die Christlich-Demokratische *Union* キリスト教民主同盟 (ドイツの政党; 略 CDU) / …… (『アクセス』1622頁)
- (106) (特に政治上の) **連合**, 連盟. — die Christlich-Demokratische ~ キリスト教民主同盟 (ドイツの政党) (略 CDU), die Junge ~ (CDU・CSU の) 青年同盟. …… (『クラウン』1464頁)
- (107) 連合, 同盟, 連盟; 連邦; 組合. die ~ 『政』 CDU・CSU の両党, die Junge ~ 『政』 CDU・CSU 青年部. (『新コンサイス』1247頁)
- (108) 連合, 連盟, 同盟; 連邦: die Christlich-Demokratische ~ キリスト教民主同盟 (略 CDU), die Christlich-Soziale ~ キリスト教社会同盟 (略 CSU), die Junge ~ (CDU と CSU の) 青年同盟. (『新マイスター』1290-1291頁)
- (109) 連合; 同 (連) 盟; 連邦. (『デイリー』694頁)
- (110) (Bund) (団体・国家などの) 連合 [組織], 同盟, 連盟, 組合; 連邦: die Christlich-Demokratische ~ キリスト教民主同盟 (→ CDU) | die Christlich-Soziale ~ キリスト教社会同盟 (→ CSU) | …… (『独和大』2447頁)
- (111) (団体・政党・国家・教会などの) 連合, 合同, 同 (連) 盟; 連邦; 『歴史』 …… 同君連合 (同一君主を戴く複数の独立国家), die Christlich-Demokratische ~ (略 CDU) キリスト教民主同盟, die Christlich-Soziale ~ (略 CSU) (バイエルン州の) キリスト教社会同盟, die Junge ~ (略 JU) キリスト教青年同盟 (CDU と CSU の共同の青年組織), …… (『フロイデ』1531頁)

《Union》が「同盟両党」を指すことを記しているのは7点中最も早く発行された『新コンサイス』のみである。他の6点がなぜこれを参考にしなかったのか不思議であるが、この単語の使用実態を考慮すればぜひこの訳語を追加すべきであろう。

3. 考察

前章において七つの単語について、その独和辞典および独和辞典の記述を見てきた。これらの単語自体は相当古くから使われている。本稿で取り上げた語義にしても2000年前後に社会に定着したと見られる《Mittelstand》と《Netz》を除けば、少なくとも数十年前から使われている。それにも関わらずこれらの語義は独和辞典では部分的にしか採用されていない。本章ではその理由を探り、個々の

単語の使用実態に対応した辞書項目の記述のための方策を検討する。

言語に関する辞典には大きく分けて、対象言語のある語を同じ言語で説明する一言語辞典と、対象言語のある語を別の言語で説明する二言語辞典がある。²⁶ いずれにしても一つの辞典をゼロから編纂することは極めて困難なので、通例は既存の類似した辞典を何らかの形で参考にすることが多い。特に二言語辞典の編纂にあつては、対象とする言語の一言語辞典の方が歴史が古く記述がより正確であるなどその言語の実態を正しく反映しているので、一言語辞典が果たす役割は非常に大きい。本稿で論じる対象となるのは独独辞典と独和辞典である。独独辞典には、ドイツ語を母語とする人たちを対象としたものと、ドイツ語を母語としないドイツ語学習者向けのものがある。前者の代表格と言えるのが Duden 2003、Duden 2007 および Duden 2011 である。ドイツ語の世界ではドイツ語学習者向けの独独辞典は長い間存在せず、ドイツ語を母語とする人向けの独独辞典を使うしかなかった。

しかしながらこれにはいくつかの問題がある。第一に、説明に使われたドイツ語自体が難解で、ドイツ語を母語としない人が理解しにくいという点である。次に、ドイツ語を母語とする人にとっては一つの概念であっても、母語としない人にとっては複数の項目に分けて説明しないと分かりにくいケースが少なからずあることである。2.5. で取り上げた《Staat》がこれに当たる。第三に、ドイツ語圏の Landeskunde²⁷ に関する情報はドイツ語を母語とする人には自明のことなので簡略な記述で済まされているが、予備知識が不十分な外国人には当該の単語およびそれを含むコンテキストが理解しづらいことである。第四の問題として、2.7. で取り上げた《Union》のように、余りにも当たり前過ぎる事柄が無意識のうちに無視されることがある。これらの問題は、1993年に Langenscheidt の初版が刊行されたのを皮切りにその後数種類のドイツ語学習者向け独独辞典が発行され、かなり解消された。本稿で独独辞典を比較した限りでも、ドイツ語を母語としない人向けの独独辞典では痒い所に手が届く配慮が随所になされていることが分かる。

新語ないし新語義が独和辞典に記載されるプロセスをシミュレートしてみよう。ある単語ないし語義が新しくドイツ語圏で使われるようになってそれが社会に定着したと判断されて初めて独独辞典に採用される。どんな辞典であっても新しい改訂版が出るまである程度時間がかかる²⁸ので、ここまでで数年かかる。独和辞典を新たに編纂する、もしくは改訂版を編纂する際には、通例見出し語の選定や

²⁶ 三言語以上にわたる多言語辞典もあるが、これは基本的には二言語辞典を応用したものであるため、本稿では扱わない。

²⁷ ある地域・文化圏の衣食住、文化、地理や歴史、宗教や慣習、社会的な制度、政治・経済などに関するさまざまな知識。

²⁸ 《Duden. Deutsches Universalwörterbuch》は初版が1983年に出て、最新版の第7版が2011年に出ているので、平均して約4年半ごと改訂版が発行されていることになる。

訳語・用例などの辞書項目の記述にあたって既存の独独辞典や独和辞典を参考に
する。参考にした辞典に新語や新語義が記載されていれば検討する候補となり、
編集方針と合致すれば採用されることになる。従って、独和辞典の新規の、もし
くは改訂版の編纂作業がスタートして実際に発行されるまでここでも数年かかる。
二つの段階を合わせると、ある単語ないし語義が新しくドイツ語圏で使われ始め
てから、それが独和辞典に採用されるまで10年くらいかかっても不思議ではない。
一方、独和辞典を編纂する際に、ある単語ないし語義が参考にする独独辞典に記
載されていないとしても、編纂者の判断で採用することも当然あり得る。その場合は、
新語ないし新語義が独和辞典に採用されるまでの期間は大幅に短縮される。

それでは、ドイツ語圏でよく使われる単語ないし語義が独和辞典には記載され
ていないという現象はなぜ起きるのだろうか。まず考えられるのが、独和辞典の
編纂時に参考にした独独辞典にそれが記載されていないケースである。本稿で
検証した7語のうち《Ausstoß》、《Freiwillige》、《Mittelstand》、《Übernahme》
および《Union》のそれぞれの追加的な語義について Duden 2003および Duden
2007に記載がないのがこれに当たる。次に考えられるのが、独和辞典の改訂時に
新しく追加する辞書項目に注意が集中して、参考にする独独辞典の既存の項目に
新しい語義が追加されていることを見落としたケースである。本稿で検証した《Netz》
に関して Duden 2007で新しい語義「インターネット」が記されているのに、こ
れより後に発行された独和辞典にこの語義が記されていないのがこれに当たると
思われる。

独和辞典を編纂する際に、ある単語ないし語義が参考にする独独辞典に記載さ
れていないとしても、編纂者の判断で採用することもある、と先ほど述べたが、これ
がうまく機能しないケースも考えられる。例えば、編纂者は個々の単語の使用実
態に精通しているはずだが、自分が担当する膨大な仕事に没頭する余り、参考に
している独独辞典のある単語の記述と編纂者自身のその単語に関する知識とが
ずれていても、うっかりそれを見落とすということが起こりうる。《Freiwillige》
や《Stadtstaat》、《Union》の項目で本稿で指摘した語義が記されていないのが
これに当たる。

では、個々の単語の使用実態に対応した辞書項目を記述するにはどのような方
策が採られるべきであろうか。それには、まず、ドイツ語を母語としない人のた
めの独独辞典も参考にすることである。ドイツ語を母語とする人向けの独独辞典
では、単語の語義を記述するにあたり、余りにも当たり前過ぎる事柄を無意識の
うちに無視することが時たま起きる。これに対してドイツ語を母語としない人の
ための独独辞典では、外国人のドイツ語学習者がつまずきそうな箇所では、正し
く理解されるよう記述が工夫されている。《Union》の「同盟両党」という語義
が Duden 2003、Duden 2007および Duden 2011では示されていないのに対して、

Langenscheidt と PONS では独立した意味項目を設けて「CDU と CSU の両党」を指すことが明確に示されているのがよい例である。また、ドイツ語では一つの問題であるが他の言語では複数の概念と考えられるものは、ドイツ語を母語とする人向けの独和辞典では一つの語義として記述されているが、ドイツ語を母語としない人のための独和辞典では意味項目を分けて説明している。《Stadtstaat》の語義が Duden 2003、Duden 2007 および Duden 2011 では一つのものとして記されているのに対して、PONS では「都市国家」と「(連邦国家の) 都市州」に分けて説明しているのがその例である。このように、独和辞典の編纂にあたって、ドイツ語を母語としない人向けの独和辞典も参考にすることで、個々の単語の語義をよりきめ細かく記述できる可能性がある。

それでも、ある単語ないし語義が新しくドイツ語圏で使われるようになって、それが独和辞典に採用されるまで10年くらいのタイム・ラグが生じる問題は解消されない。日本にいながらにしてドイツの新聞・雑誌の最新記事にリアル・タイムでアクセスできる現代において、この時間差は以前に比してより一層看過できない問題となっている。このタイム・ラグを縮める方策としては二つのことが考えられる。一つ目は新しい語義に関してであるが、ドイツ語圏で発行される新聞や雑誌などのアーカイブを利用して、当該の独和辞典に収録されている単語について、その語義別の出現頻度を調査して、未収録の語義で出現頻度が高いものがあれば、それを加えることである。《Netz》の「インターネット」という語義は Duden 2003 には記されていないが、Duden 2007 では取り上げられている。もし、ある独和辞典の編纂者が《Netz》の語義別の出現頻度を独自に調査していたら、Duden 2007 よりも早くこの語義を採用できたであろう。独和辞典に収録されている単語の語義別の出現頻度を調査することは、新しい語義をいち早く採用することに繋がり、とても意義深い。全ての収録語についてこのような調査をすることは難しいかも知れないが、辞典利用者が検索する頻度が高い重要語についてだけでも実施すればその独和辞典の利用価値は大に上がる。二つ目は新語に関してであるが、日頃からドイツ語圏で発行される新聞や雑誌に目を通して新語を採取し、その中から出現頻度が高いものを独和辞典に採用することである。このような方策を講じることで、上記のタイム・ラグが短縮され、時事的な文章を読んでいてある単語を独和辞典で検索した時に目指す訳語に出会える可能性がこれまで以上に高まるであろう。

4. 終わりに

辞典の利用者はそこに書かれていることに全幅の信頼を置いている。独和辞典においてもそれぞれの見出し語に対して適切な訳語が与えられていると利用者は思っている。しかしながら、目指す訳語が記されていないことは時折起こりうる。

本稿ではそのようなことがなぜ起きるのか、それを避けるにはどんなことが考えられるかを論じてきた。独和辞典の編纂にあたっては、他の二言語辞典の場合と同様に、対象言語のある語をその言語で説明する辞典、つまり独独辞典を参考にしてきた。このことは二つの問題を孕んでいる。一つ目の問題には、参考にしてきた独独辞典がドイツ語を母語とする人向けのものなので、語義の説明自体が難解である、ドイツ語を母語とする人にとっては一つの概念であっても、母語としない人にとっては複数の項目に分けて説明しないと分かりにくいケースが少なくない、Landeskunde に関する情報が外国人が分かるようには工夫されていない、余りにも当たり前過ぎる事柄が無意識のうちに無視されることがある、などの点が挙げられる。ドイツ語を母語としない人向けの独独辞典ではこれらの点にたいしてきめ細かい配慮がなされているので、後者の独独辞典も参考にすることで一つ目の問題点はかなりの程度解消される。二つ目の問題点は、ある単語ないし語義が新しくドイツ語圏で使われるようになって、それが独独辞典に採用され、更に、その独独辞典を参考にして独和辞典に採用されるまで10年くらいのタイム・ラグが生じることである。この問題を解消するには、独和辞典の編纂者が自身でその独和辞典の収録語の語義別の出現頻度を調査したり、ドイツ語圏で発行される新聞や雑誌に目を通して新語を採取するなどして、独独辞典に頼らず独自の目配りをする必要がある。社会の変化がますます速くなって行く現代だからこそ、それに対応した辞典作りが求められている。

参考文献

- Bedürftig, Friedemann: Taschenlexikon Deutschland nach 1945. München: Piper Verlag, 1998.
- Bundesland Bremen: Das Bundesland Bremen auf einen Blick, in: <http://bremen.de/zahlen--fakten-13154375> (2012年10月10日閲覧)
- CDU/CSU: Geschichte der Fraktion, in: http://www.cdusu.de/Titel__geschichte_der_fraktion/TabID__19/SubTabID__21/InhaltTypID__27/Texte.aspx (2012年10月10日閲覧)
- Dicke, Hugo: Wirtschaftliche und politische Standortbedingungen für kleine und mittlere Unternehmen in Deutschland, in: Institut für Weltwirtschaft, Kieler Arbeitspapier Nr. 661, 1994, 19 Seiten.
- Heyl, Julian von: Rezension zu: Duden – Deutsches Universalwörterbuch (2011), in: http://www.korrekturen.de/rezensionen/duden_deutsches_universalwoerterbuch.shtml (2012年10月10日閲覧)
- Institut für Mittelstandsforschung: Ziele und Aufgaben des IfM Bonn, in:

<http://www.ifm-bonn.org/index.php?id=60> (2012年10月10日閲覧)

- Nohlen, Dieter / Grotz, Florian (hrsg.): Kleines Lexikon der Politik. Fünfte, überarbeitete und erweiterte Auflage. München: Verlag C.H.Beck, 2011.
- Quasthoff, Uwe: Deutsches Neologismenwörterbuch. Neue Wörter und Wortbedeutungen in der Gegenwartssprache. Berlin: Walter de Gruyter, 2007.
- Rittershofer, Christian: Lexikon Politik, Staat, Gesellschaft. München: Deutscher Taschenbuch Verlag, 2007.
- Sowein, Gerd: Aktuelles Lexikon XXX. München: Süddeutsche Zeitung, 2004.

独和辞典・独独辞典

- 国松孝二 他『独和大辞典 第2版』小学館 2000.
- 在間進 他『アクセス独和辞典 第3版』三修社 2010.
- 戸川敬一 他『新マイスター独和辞典』大修館 2006.
- 濱川祥枝 他『クラウン独和辞典 第4版 CD付き』三省堂 2008.
- 早川東三 他『新コンサイス独和辞典』三省堂 1998.
- 早川東三 他『デイリーコンサイス独和・和独辞典 第2版』三省堂 2009.
- 前田敬作 他『フロイデ独和辞典』白水社 2003.
- Duden. Deutsches Universalwörterbuch. 5., überarbeitete Auflage. Mannheim u.a.: Bibliographisches Institut, 2003.
- Duden. Deutsches Universalwörterbuch. 6., überarbeitete und erweiterte Auflage. Mannheim u.a.: Bibliographisches Institut, 2007.
- Duden. Deutsches Universalwörterbuch. 7., überarbeitete und erarbeitete Auflage. Mannheim u.a.: Bibliographisches Institut, 2011.
- Langenscheidt Großwörterbuch Deutsch als Fremdsprache. Neubearbeitung. Berlin u. a.: Langenscheidt, 2010.
- PONS Großwörterbuch Deutsch als Fremdsprache. Stuttgart: PONS GmbH, 2011.
- Wahrig Großwörterbuch Deutsch als Fremdsprache. Gütersloh: Wissen Media, 2008.

アーカイブ

SPIEGEL-ONLINE-Archiv. <http://www.spiegel.de/suche/index.html?suchbegriff=>